

科目責任者 植沢 芳広 (臨床薬剤学教室)

■ 教育目的

主な疾患の病態生理の概略を把握し、病態に即した薬物治療選択の組み立てが理解できる能力を養うために、主要な薬物について薬理作用、病態が体内動態におよぼす影響、重要な有害事象などについて、マルチメディアを活用し学習する。

■ 学習到達目標

1. 代表的な機能検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾患を挙げることができる。
2. 神経筋疾患、疼痛治療、消化器疾患、感覚器疾患、生殖器疾患、婦人科疾患、循環器疾患、血液疾患および呼吸器疾患に関して、病態生理の概略を把握し、病態に即した薬物治療の組み立てを理解する。
 - 2-1) 上記疾患の病態生理を説明できる。
 - 2-2) 上記疾患の治療ガイドラインを読み理解できる。
 - 2-3) 上記疾患の適切な薬物治療および使用上の注意を薬学的観点から説明できる。

■ 準備学習（予習・復習）

予習：予め講義プリントに目を通す。

復習：重要事項の理解に努める。

■ 授業内容

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	神経筋疾患 1	脳血管障害、てんかん、片頭痛、重症筋無力症	C14 (3) -6-2~3
2	神経筋疾患 2	パーキンソン病、アルツハイマー病	C14 (3) -6-4~6
3	消化器疾患	上部消化管疾患、下部消化管疾患、膵炎	C14 (2) -4-1~3、6
4	感覚器疾患	眼疾患、内耳疾患、皮膚疾患	C14 (4) -4-1~3 C14 (4) -2-2~3
5	生殖器疾患	前立腺肥大、性機能障害、月経異常、不妊	C14 (3) -2
6	婦人科疾患	更年期障害、妊娠・分娩異常	C14 (-3) -2-1~3
7	循環器疾患 1	高血圧	C14 (2) -2-4
8	循環器疾患 2	心不全	C14 (3) -5-2
9	循環器疾患 3	虚血性心疾患	C14 (2) -2-5
10	循環器疾患 4	脂質異常症	C14 (2) -2-3
11	血液疾患	貧血、血栓性疾患と抗凝固療法	C14 (2) -3-1、4~5
12	呼吸器疾患 1	慢性気管支喘息	C14 (3) -3-1~2
13	呼吸器疾患 2	急性気管支喘息	C14 (3) -3-3
14	疼痛治療 1	疼痛発現機構、炎症、がん性疼痛の特徴とその評価	C13 (-2) -1-3 C14 (-4) -8-1
15	疼痛治療 2	がん性疼痛治療の実際	C14 (-4) -8-1

■ 授業分担者

No.1～2：佐藤 準一、No.3～6：佐野 和美、No.7：池上 洋二、No.8～15：植沢 芳広

■ 成績評価方法

学期末試験および出席状況・授業態度で総合評価を行う。

■ 教科書

講義プリント、今日の診療（MY-PORT >医療人 GP サイト内）

■ 参考書

- 『図解薬理学 第2版』 越前 宏俊 著（医学書院）
 『今日の治療薬 2013』 浦部 晶夫・島田 和幸・川合 真一 編（南江堂）
 『薬剤師のための疾患別薬物治療法Ⅰ～Ⅴ』 日本医療薬学会 編（南江堂）
 『標準医療薬学 薬物治療学』 越前 宏俊・鈴木 考 編（医学書院）
 『今日の診療指針 2013』 山口 徹・北原 光夫・福井 次矢 編（医学書院）